

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1～2 / 明日への一歩 ～宮城からの復興だより～第3回
- 2～4 / 運営委員会で話し合われたこと
- 4 / 運営委員よりひとこと
- 5 / ヌエック参加報告
- 6 / 大人の女性のためのただツアー申込書
- 7～8 / 白熱教室 会員を募集しています 編集後記

明日への一歩

～宮城からの復興だより～

「これからの防災学習・福祉学習」

第3回

今回は、コミュニティ・4・チルドレンによる取り組みをご紹介します。

コミュニティ・4・チルドレン(C4C)は、アジアの子どもたちが、元気で幸せに成長することができる地域社会づくりを支援する一般社団法人です。

今回の震災においては、これまで防災・福祉学習、市民教育、地域活動に無関心だった人々も、目前の共通の課題に対して、命令や指示がなくても自ら行動を起こしました。【大人も子どもも自ら取り組んだ助け合い活動を、平時の活動へとつなげていくこと】、【これからの復興を支える地元人材の育成へとつなげていくこと】が急務となっています。

また、震災以前からそして全国的な課題として、少子高齢化が進み地域の絆が弱まり、セーフティネットの弱体化が進んでいる現状があります。安全・安心に過ごせる地域を創りだせる住民力を平時から高めていくためには、【地域の資源や課題を地域全体で共通認識としてとらえ、大人も子どもも一体となって地域活動に取り組んでいくこと】が必要不可欠です。

そのような宮城の状況において、コミュニティ・4・チルドレンは今年6月から、「宮城における地域一体で取り組む防災・福祉学習の推進事業」を開始しました。

【普段から地域全体の防災力・福祉力を高める】【住民一人ひとりの命と暮らしを守ることでできる地域を目指す】をテーマに、地元の社会福祉協議会・NPO・学校等とご相談しながら、防災・福祉学習コーディネーターの配置、防災・福祉学習プランの企画・実施のサポート、事業実施に必要な人・ツール・情報などの提供・コーディネート、プログラム・コンテンツ開発などに取り組んでいきます。

早速8月8日には大崎市社会福祉協議会主催「おおさき福祉教育推進セミナー(C4C協力)」、8月10日には美里町社会福祉協議会主催「私たちの防災教育研修会(C4C共同主催)」が開催されました。

どちらも主な参加者は市町内の学校教員です。基調講演や事例発表、グループディスカッション

などを通して、互いに地域資源である社会福祉協議会と学校とのつながりをつくり、震災の経験を踏まえたこれからの防災・福祉学習について考え、課題や悩みなどを共有しあいました。

「普段の暮らしの幸せをかなえる」という意味では、防災学習も福祉学習も目指すところは同じである、と私たちは考えています。これからも地域の皆さんとともに、一步ずつ、取り組みを進めていきます。

支援者のための支援センターTOMONY 事務局
一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン防災・福祉学習コーディネーター
菅原 清香

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成24年9月5日(水) (AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター

9月の声を聞いても相変わらず暑い日が続いていますが、お元気ですか？
ホントにホントに無理せずに自分のペースでいきましょう！
次回の運営委員会は、出前講座と重なったため第2水曜日へ変更して、
10月10日(水)9:30~男女共同参画センターです。どなたでもおいで下さい。

1.

NWECフォーラム2012(8/25)参加報告

以前より参加者が少なくなったフォーラムですが、それでも全国から集ってきた方々との交流では、いつも新鮮な刺激を受け、明日からの活動へたくさんのヒントを得ることが出来ました。

当会から参加した4名は、それぞれが選んだ分科会へ参加し、今まで自分の歩んできた人生を振り返り、これから自分が、どのような生き方をしていいたらよいのか…原点に戻りつつ、主体的に生きる方策を考えるフォーラムとなったような気がします。参加報告を5ページに載せましたのでお読みください。

2.

「大人の女性のためのしただツアー」(11/7)について

は～い、ツアー内容が決定致しました！(パチパチ)

日時は、11月7日(水)午前9時市役所前に集合。

午前は、市民部生涯学習課埋蔵文化財調査室の勝山百合さんのガイドで御淵上遺跡等数々の遺跡を巡ります。ちょうど秋の紅葉真っ盛りで素晴らしい風景を堪能出来ることと期待しています。

お食事は、いい湯らていのイタリアンレストラン「ゴッツォ・ラーテ」でプレミアムコースをゆっくりといただき、午後は、恒例(?)のみひろ窯とスノーピーク本社を訪れて、

それぞれお話しを伺います。尾崎ご夫妻のみひろ窯は、10月に個展を終えての訪問となりますので、また新しい作品に出会えるのではとても楽しみです。

参加費は、実費を支払う形になりますが、お食事が、コース代2,500円バス代は、1,000円です。その他、コース外のお飲み物は、実費でお飲みいただけます
6ページに参加申込み書を入れましたのでご利用下さい。

3. 出前講座(提供編)について

ひとり一人が輝く男女共同参画社会を目指して行う出前講座、当会へ依頼が来たのは4年ぶりです。

講座内容「見てみて、演じてみて、話してみても 人生の主演はあなた!!」にあるように、人生の主演は自分自身であるということを確認し、尚かつ楽しい講座となるように、出演者のみで集まって打ち合わせを行うことになりました。

本番は、10月3日(水)午後2時から土場の集会所です。お時間と興味のある方、ご連絡お待ちしております。

4. 燕三条エフエム放送(ラジオは〜と76.8MHz)“ワイワイ女性ひろば”

●本放送 毎週木曜日 11:00~11:30 ●再放送 毎週水曜日 19:30~20:00

9月のテーマ 「まちあるき」

- ①「秋のまちあるきより」
- ②「新飯田からみた三条」
- ③「秋のうきうきフェスタ」
- ④「鉄ちゃんと行く弥彦線の旅」

メンバー 岡村直道さん (燕三条まちあるき連絡協議会会長)
山田泰介さん (新潟市南区新飯田 山田七蔵茶舗七代目)
勝山百合さん (三条市生涯学習課 文化財係)
藤井芳輔さん (三条市在住 まちあるきナビゲーター)
野崎ミチコ
田辺とも子

「ワイワイ女性ひろば」今年度上半期最終の9月。秋のまちあるきイベントの先陣を切って新飯田でまちあるきが行なわれますが、そのナビゲーターを務められる山田泰介さん、「秋のうきうきフェスタ」で、遺跡めぐり担当の勝山百合さん、鉄道マニアの藤井芳輔さんの3人をゲストに中身の濃いおしゃべりを参加者全員が楽しみました。どの週も時間の制限が惜しいほどで、ゲストのみなさまには来年度も引き続き出演をお願いしました。

今年度6ヶ月間、参加協力ならびに応援、そしてお聴きいただいた皆さまありがとうございました。10月からは燕生活学校の皆さまが担当します。どうぞお聴き下さい。
(田辺)

5. 市民窓口課市民係より2つの連絡

◆「男女共同参画推進プラン平成23年度改訂版」が、送られてきました。見ただけでは、前回のプランとの相違点がどこにあるのか分かりづらく、是非担当者からの説明が聞きたいとの声がありましたので、出張トークへ申し込むことになりました。日時が決まり次第、連絡しますのでお集まり下さい。

◆平成24年度男女共同参画セミナー

「わたしの防災カノート・セミナー～防災力を身につけよう」が開催されます。

日時：10月13日（土）午後1：30～3：30

会場：中央公民館

講師：男女共同参画センター横浜北 常光明子さん

対象：小学生までのお子さんをお持ちの保護者

定員：30人

内容：実際に震災を経験した女性たちの声をもとに、災害時における不安や課題を整理した「わたしの防災カノート」。このノートを使ってひとりひとりの「わたしの防災力」を考えます。

★★★ 新年度の活動に向けて運営委員よりひとこと ★★★

●安室 久恵

8月が生まれ月でまた年を重ね、越し方行く末を考えました。うっかり人生だったかなと少し後悔。子や孫の世代に何を伝えるべきか。役割は何だろうかと。女性会議は社会問題はもちろん、個人的なことも何でも話ができる貴重な場です。もっと仲間がふえるといいですね。

●住谷 幸子

女性会議の有意義な活動にほとんど参加出来ない私ですが、この運営委員会に出席する事で自分の心が落ち着き、皆さんとお顔を会わせることでファイトが出、元気になります。そしてこの運営委員会に参加して、三条女性会議の本当の内容も理解し、私なりにお手伝い出来る事をさせて貰っています。まだ、この運営委員会に出席した事のない方！是非、月1回の運営委員会に参加してみませんか。きっとご自分の心の糧になると思います。

●野水 良子

髪をよくふくとドライヤーの時間が短くなるよ エコ！！ 2歳8ヶ月

この夏三ヶ月ぶりに娘が孫をつれて帰ってきてくれました。大きくなってうれしいばかりです。子育て家庭はいそがしくて大変です。離乳食づくり、排泄の手伝い、一緒に遊びながらのコミュニケーション。優しい言葉を選びながらの励まし方。とにかく人格形成の全てです。パパもよく手伝ってくれるいい育メンでした。何をすることも二人で相談している形は私の時にはなかった光景です。そこで…私は何をすればいいのか？脇でそっと見ているだけ。頼まれたことをするだけ。娘の健康を気づかうだけ。娘のつれあいの機嫌を気づかうだけ。だけ、だけ、だけ、と結局いっぱいになりますが、(自

分のつれあいを忘れていた訳ではありません)この幸せが続くように努力しなければなりません。

【又エック参加報告】

平成24年度男女共同参画のための研究と実践の 交流推進フォーラムNWE Cフォーラム2012に参加して

早川 壹禧

8月25日(土)、埼玉県比企郡の国立女性教育会館を会場に、全国で活動する54の団体・グループのワークショップが開催された。

午前中は10のワークショップがあり、個人が自由に選択できる。私は「一人芝居でセクシャルハラスメントを考える」を選んだ。実体験者が演じる「私は生き残った」の一人芝居。自分の中での葛藤、環境、周囲の反応、友人知人の中でいかに苦悶苦闘したか。そして到達したのは愛(信頼)の気持ちで、「私は生き残った」にまとめられた。凄い気迫が私の脳を刺激し、古稀を迎えた自らの人生、生活を振り返ってみると何故か妻の声が聞こえて…。新たな課題を与えられたような、しかし新鮮で不思議な体験だった。

午後の部は「もっともっと自分をのばそう～人生90年時代の役割と生涯“育自”～」に参加。グループ分けの結果、北海道、茨城、埼玉の方々と一緒にになった。思い通りにいかない人生でも漫然と過ごしちゃもったいない。自分らしく豊かな人生90年を現役で送るには、多様な役割に目を向け、自分らしい目標を持って生きがいや充実感を持てるよう、日々自分を育て生涯成長し続けることである。人生90年として、退職してから使える時間は10万時間と計算され、時間は十分すぎるくらいある。客観的に今の自分の姿をみつめ、なりたい自分をイメージする。家庭環境、学習意欲、体力づくり、経済状況、市民活動参加などについて紙に書き出してみる。自己分析が重要であり、適性、志向、思い込み、偏見、先入観を問い直す。「家族や周囲を幸せにするには、自分自身が充実して幸せであること」を確認した。初めての参加で最初は驚いたが終わってみれば充実した一日でした。



☆☆☆会員でなくても熱烈歓迎！！☆☆☆

大人の女性のためのしただツアー

しただ郷を愛し、しただを拠点に活動している方たちを訪問してお話しを聞き、しただの魅力を味わうツアーです。午前は遺跡で専門家のお話しを聞き、紅葉を楽しみます。お昼はいい湯らていでプレミアムコースランチ、午後はみひろ窯、スノーピーク本社を訪問します。小さな声ですが、もちろん男性もOKなんですよ～！

記

- ◆日 時：11月7日（水曜日）午前9時～午後4時
- ◆集合場所：三条市役所第2庁舎前
- ◆参加費：食事代等実費（3,500円位）
- ◆連絡先：三条女性会議 野崎ミチコ（または、お近くの運営委員へ）

FAX 0256-32-3679

TEL 0256-32-3667（昼）

TEL 0256-32-1764（夜）

E-mail: info@joseikaigi.net

11月7日（水）の大人の女性のためのしただツアーへ参加します

氏名 _____

電話 _____

※このままFAXでお送り下さい。

白熱教室の開催

変わりゆく時代・・・明日に向けて

米田美智子

平成7年、今から17年前（あれっ、もうそんな昔・・・??）、新人市議として始めて市役所の食堂に入った時、ある女性職員の方に声をかけられた。「米田さん、北京女性会議って知ってますか？」って。私にとって、それが「男女共同参画社会」に目覚めた一瞬だった。彼女は自費で男女共同参画北京会議に参加した人だった。

父も含め、男を立てるのが当たり前で育った私には、教育現場でも謙虚な女性教師としての振る舞いが身についていた。初任校は「女は学級担任せんでいい」という近隣でも名だたる存在感の名物校長の下での穏やかな10年間、2つめの学校は時代も変わり、教師はもはや聖域的存在ではなく、教師はエネルギーをもてあました生徒達のからかい、いじりのターゲットになっていた。特に担任経験が浅く、ごちない振る舞いの私は格好の存在だった。私の学級、授業は荒れまくった。しかし、カッコイイ男性教師の授業は別だった。「あいつ等、オレの時はいい子だよ」と、何気なく言われても、私は普通のこととして受け止めるしかなかった。

しかし、2学期の後半から、彼らはぴったつと静かになった。受験を意識し始めたのかもしれないし、女生徒たちの説得の効果が実を結んだのかも知れない。彼女達は彼らを近くの神社に呼び込んで「もういい加減にしたら・・・」と説教をしたらしい。実は、その件については彼女たちは私に一切しゃべってない。たまたま、ランニングでその場を通ったある男性教師が、後日、教えてくれたのだ。

そのクラスとの付き合いは、今、最もたのしい。

ここまで書いてきて、自分でも何が言いたいのかわからなくなってきた。男女共同参画社会なんかやめておけ・・・などと言うつもりは全くない。女も堂々ともものが言える時代、社会がどんなにありがたいか、変わり者の1号議員なんて無視だという、市議会のオヤジ的男性蔑視の現実を体験した身として、それは如実に感じている。

しかし、そんな古い男性感覚はもう相手にされない時代になった。

今、私が不安を感じているのは、男の子の育ちにくさ、男性の生き方の方向性だ。ひきこもりも自殺件数も圧倒的に男性が多い。心の病関係の人達との交流でも、感じるのは男性当事者特有の生きにくさだ。

おしゃべりコミュニケーションでは幼児期から女の子にはかなわない。各種審議会など公的分野での男性優位は今も変わらないが、日常の場ではもの言えぬ男性の方が目立つ。

今回、「さんじょう白熱教室」を立ち上げた。思いがけなく、市のまちづくり交付金

事業に応募してみてものアドバイスを受けて、あっという間に誕生した。毎月20日、午後6時30分より、東公民館で開催する。テーマ、事例にそっての対話、対論を主とするコミュニケーションの場にしたいと思っている。

男女問わず、世代、職種を超えて、明日に向けて、ワイワイ、対話、対論を楽しみませんか。新しいコミュニケーションの場になればと思っています。

三条女性会議では随時会員を募集しています

Q. 三条女性会議って、どんな団体？

A. 女性と男性があらゆる分野で、共に参画し、支え合う社会をつくることを目的に活動している市民活動団体です。

Q. どんな活動をしているの？

A. はい、次のような活動をしています。

●燕三条エフエム放送で「ワイワイ女性ひろば」を担当

本放送 毎週木曜日 11:00~11:30 再放送 毎週水曜日 19:30~20:00

●毎月会報「鮮度一番!」の発行やホームページによる広報活動

●その他、男女共同参画社会実現に向けた活動

Q. 誰でも入れるの？

A. はい。女性だけでなく男性の会員さんも活躍しています。

年会費： ・一般会員 3千円 ・賛助会員 3千円 ・団体会員 1万円

連絡先： 野崎ミチコ Tel 32-3667 / E-mail: info@joseikaigi.net

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>

編集後記：

お年寄りや子どもはもちろん私たち中年層にもきびしい残暑。田んぼの蒸し風呂のような暑さの中、大勢の手をかりて稲刈りが無事に終わりました！バンザイです。コメの等級だの収量なんてどーでもよくなってます。刈り上げの宴に飲んだビールのおいしかったこと、とにかくバンザイ！

今号も盛りだくさんの誌面になりました。どうぞ隅から隅までお読みください。（原）

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>